

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 2月 26日

公表:令和 7年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろPROGRESS I

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|--|----|-----|---|---------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 0 | 利用人数に応じて活動スペースの調整をすることで必要なスペースを確保している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | 0 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 2 | 5 | 事業所がビルの2階にあるが、エレベーターやスロープが設置されていない。移動時に支援を要する際には指導員が荷物を持ったり支えたりするなどサポートをおこなう。 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 7 | 0 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | 0 | 保護者等向け評価表の他に保護者満足度アンケートを実施している。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | 0 | ホームページに公開している。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 7 | | 定期的に外部講師による事業所視察を行い、支援に関する助言をいただいている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | 0 | 毎月外部講師を招いて研修を実施している。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--------|----|-----|---|---|
| 適切な支援の提供 | 9 | 7 | 0 | | |
| | 10 | 7 | 0 | SM社会生活能力チェック表やISSPなどのアセスメントツールを使用している。 | |
| | 11 | 7 | 0 | | |
| | 12 | 7 | 0 | 5領域に沿ったねらいをもった活動プログラムを提供している。 | |
| | 13 | 7 | 0 | | |
| | 14 | 7 | 0 | | |
| | 15 | 7 | 0 | 朝礼、昼礼をおこなっている。その際、ノートに情報を記載することで週休日の職員も情報が確認できるようにしている。 | |
| | 16 | 6 | 1 | | 送迎等により当日に振り返りが行えない場合は、翌日の朝礼等で振り返りを実施している。 |
| | 17 | 7 | 0 | | |
| | 18 | 7 | 0 | | |
| 19 | 7 | 0 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|----|-----|---|--------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | 0 | 児童発達支援管理責任者だけでなく公認心理士などふさわしい職員が参画している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | 0 | 送迎時に担任などから学校での様子など申し送りを受けている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 7 | 0 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 7 | 0 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 7 | 0 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 7 | 0 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 7 | 0 | 休日や長期休暇などに公園や児童館で活動をおこなうことで障がいのない子どもと活動できる機会を設けている。 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 2 | 5 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | 0 | 送迎時や電話などでご自宅や事業所での様子を互いに情報交換をしている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 7 | 0 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---|--------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | 0 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | 0 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 0 | 保護者会や保護者が参加できるイベント等を開催している。 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | 0 | HUGの活動記録や公式LINEでイベントなどの活動について発信している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | 0 | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | 0 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 4 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 7 | 0 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | 0 | 年に2回消防訓練をおこなっている。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | 0 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 7 | 0 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | 0 | 服薬やエピペンを使用するタイミングなど保護者を通じて必要な対応の情報をいただいている。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | 0 | | |